

2025年度

学校名 綾部市立東八田小学校

対象学年 全学年

① 学習指導案

プログラム	No.8 「地域カルタをつくろう」
単元名 (全20～46 時間)	地域カルタをつくろう
学習のねらい	ふるさと学習テーマ「え〜とこやったわ♡東八田」のもと、総合的な学習の時間などを中心にして、各教科と関連させて地域の環境や伝統について学習している。自然環境保護や伝統保護の視点で、自分の住んでいる地域を見つめ直し、自分ができることを考え、実践しようとする「ふるさと教育」を推進している。また、「ことばの力を高め、生き生きと学ぶ児童の育成」という研究主題を設定し、国語科の研究にも取り組んでいる。これらの取組を地域カルタという形で表現することで、児童が地域の方などに発信したり、カルタ取りを通して交流したりするという目的意識や相手意識をもって学習に取り組めるようにするとともに、学びに向かう意欲を高め、学びを深めることができるようにする。
学習内容	① 1・2年生、わかくさ学級 生活科や生活単元学習を通して、野菜や花を育てたり、季節ごとに木々の変化を調べたり、生き物と関わったりする活動をする。また、町探検や幼稚園との交流などを通して、自分たちの住む地域の自然や環境に関心をもたせ、地域の方や幼稚園児と積極的に関わろうとする態度を育てる。また、これらの体験活動をもとに、国語科1年生「しらせたいな、見せたいな」や、2年生「見たこと、かんじたこと」の学習と関連させて、知らせたい、伝えたい思いをカルタに表現できるようにする。 ② 3年生 3年生総合的な学習の時間「弥仙山わくわく調査隊」では、ゲストティーチャーによる解説やフィールドワークによる弥仙山の調査活動を通して、地域の自然環境について理解し、集めた情報を整理し、発表できるようにまとめる。学習を通して、地域の自然環境を守るために自分たちにできることを考え、取り組もうとする態度を育てる。また、国語科「わたしの町のよいところ」と関連させて、調べたことを知らせる文章を書く。その後、情報を選択し、語感やリズムも意識してカルタを作成する活動につなげる。 ③ 4年生 4年生総合的な学習の時間「伝統を守り育てる人たち」では、伝統工芸「黒谷和紙」にかかわる方にインタビューしたり、歴史や作品が分かる黒谷和紙会館の見学をしたりすることを通して、地域のよさを知り、

	<p>ふるさとに誇りをもち、守り、発展させていこうとする心情を育てる。また、国語科「未来につなぐ工芸品 工芸のみりよくを伝えよう」と関連させ、様々な工芸品やそれに携わる人々の思いを知り、紹介するリーフレットを作成する。それをもとに、情報を選択し、語感やリズムも意識してカルタを作成する活動につなげる。</p> <p>④ 5年生</p> <p>5年生総合的な学習の時間「東八田！ええとこ！再発見！」では、校内や校区内の自然環境などを調べ、体験的な活動や調べたことを表現する活動を通して、自然と人々との関連を学ぶ。既習の理科の内容などと関連付けて生き物とのつながりを考えたり、国語科「固有種が教えてくれること 自然環境を守るために」では、自分の考えにあった統計資料を用いて、グラフや表と対応させながら文章を書いたりする学習とつなげ、教科横断的な学びを展開する。その一つとして、カルタづくりに取り組み、本校で言語力の育成を図るために取り組んでいる「言葉の宝箱」の活用も図りたい。</p> <p>⑤ 6年生</p> <p>6年生総合的な学習の時間「Let's 歴史探検」では、校区に縁の深い足利尊氏と安国寺や校区にある古墳に焦点を当てた調査活動などを通して、郷土との関わりについて学習する。校区にはそれらのほかにも、歴史のあるお寺や遺跡などが点在する。これらについて探究的な課題を設定し、課題解決に向けて取り組む中で、郷土の歴史を大切に、未来へ引き継いでいこうとする態度や、地域に発信しようとする意欲を高める。さらに、国語科「『鳥獣戯画』を読む 発見日本文化のみりよく」と関連させて、これまでに培った言葉の力を生かして、伝えたい思いにふさわしい表現を選んで、カルタづくりに取り組みたい。</p>
<p>参考資料</p> <p>準備品</p> <p>実施場所等</p>	<p>社会科副読本「わたしたちのまち 綾部」</p> <p>学習用端末</p> <p>東八田小学校運動場、弥仙山、東八田公民館、上杉駐在所、安国寺、雲源寺</p>

学習の流れ

別紙参照 「総合的な学習の時間」 指導計画 3～6年

② 事業実施報告書詳細

学校名 綾部市立東八田小学校

時間数	場所	概要	活動記録（写真）	対象者の反応
	弥仙山	3年生 ゲストティーチャーによる解説やフィールドワークによる弥仙山の調査活動を通して、地域の自然環境について理解した。	 	<p>ゲストティーチャーから弥仙山の解説を聞くことで、地域に伝わるお話を知ったり、地域の方の思いに触れたりすることができた。</p> <p>半日かけて登山をして、景色を眺めたり、植物や自然の様子を観察したりすることで、東八田のよさを味わうことができた。</p>
	黒谷和紙会館	4年生 伝統工芸「黒谷和紙」にかかわる方にインタビューしたり、歴史や作品が分かる黒谷和紙会館の見学を通して、地域のよさを知り、ふるさとに誇りをもつことができた。	 	<p>校区にある黒谷和紙会館に見学に行き、黒谷和紙の歴史や活用方法を知り、日本一強い和紙だということをに誇りをもつことができた。</p> <p>紙すきの体験を通して、和紙作りの難しさを理解したり、作った和紙を卒業生にプレゼントしようと目的意識をもって取り組んだりする姿が見られた。</p>

<p>東八田小学校運動場</p>	<p>5年生 校内や校区内の自然環境などを調べ、体験的な活動や調べたことを表現する活動を通して、自然と人々との関連を学ぶ。既習の理科の内容などと関連付けて、生き物とのつながりを考えることができた。</p>		<p>これまでに学んだことや理科などの学習を関連させて、植物や生き物に課題を設定する児童が多かった。</p> <p>学んだことをテレビ番組のようにまとめ、東八田地域の自然の豊かさについて、相手意識をもって伝えようとする姿が見られた。</p>
<p>安国寺・雲源寺</p>	<p>6年生 校区に縁の深い足利尊氏と安国寺や校区にある古墳に焦点を当てた調査活動などを通して、郷土との関わりについて学習する。校区には、それらのほかにも歴史のあるお寺や遺跡などが点在する。これらについて探究的な課題を設定し、課題解決に向けて取り組む中で、郷土の歴史を大切にし未来へ引き継いでいこうとする態度や、地域に発信しようとする意欲を高めることができた。</p>		<p>綾部市資料館の学芸員さんを講師に迎え、地域に残る茶臼山古墳を見学し、社会科の学習と結びつけながら学びを深めることができた。</p> <p>雲源寺、安国寺の見学では、住職様や地域の総代様にお話を伺うことができた。寺に伝わる宝物なども見せていただき、東八田の歴史的な建物や遺跡について理解を深めるとともに、その後に行われた安国寺のお祭りに参加するなど、郷土の歴史を大切にしていこうとする意識の高まりがみられた。</p>

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none">生活科や総合的な学習の時間の目標や指導事項を確認し、東八田の自然環境を生かすことや、地域の方との連携を大切にして学習を実施した。事前に地域の方との打ち合わせを入念に行い、児童の実態に応じた内容で伝えていただくことで児童も意欲的に学習に向かい、地域の方にもやりがいを感じていただけるようにした。学習のまとめとして、2月の学習発表会では地域の方を招待して、学んだことを各学年が工夫して発表した。さらに、学習を通して発見した東八田のすばらしさを残せるよう、カルタづくりに取り組んだ。これまで本校で大切にしてきた「ことばの力」を活用して五七五や五七五七七の形で表現できるよう、考えたものを見直したり、児童同士アドバイスし合ったりしてカルタに表現できるようにした。
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none">カルタを作ってくれる業者との連携が大変だった。PDFのデータを業者に届ける際、メールではできなかったため、学校用USBを使用してデータのやり取りを行った。言語環境部の担当教諭が取りまとめを行い、全校児童の文字の割り振りや内容の被りなどを確認した。伝えたいことが重なっている児童や言葉があり、修正するのに時間がかかった。
<p>(3) 児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none">五七五や五七五七七は、国語科の授業でも取り組んでおり、抵抗なく楽しんで取り組めた。伝えたいことを限られた文字数で表現することは難しい児童もあり、教師が指導助言することもあったが、自分の伝えたいことが表現できると、納得して嬉しそうに声に出して読んだり、絵札を工夫して描いたりする姿が見られた。カルタは3月12日に完成し、各学級で13日にカルタ大会を実施した。自分のカルタを嬉しそうに眺めたり、だれが作ったのかを確かめたりしながら、大切に扱う姿が見られた。
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <ul style="list-style-type: none">文字の振り分けや内容の重なり調整など、担当教諭や各担任が連携することで、大変な部分はあったが、完成したものを喜ぶ児童の姿や、地域の方からカルタの内容をほめていただく中で、やりがいを感じていた。次はカレンダーなどができるのではないかと、アイデアを出す教諭もあった。
<p>(5) 今後の課題と取り組み (児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等)</p> <ul style="list-style-type: none">完成後、すぐ6年生は卒業してしまったので、カルタの地域への紹介が十分できていない。計画していたように、公民館や幼稚園との連携を進めていきたい。平和学習やキャリア教育の視点でも地域との連携を進めているので、別の視点でのカルタづくり等もできるのではないかと。

カルタ取りの様子

